

## 性的マイノリティとは？

性的マイノリティとは、同性が好きの人や、自分の性別に違和感を覚える人、または性同一性障害などの人々のことをいいます。

「セクシュアルマイノリティ」、「性的少数者」ともいいます。「異性を愛するのが普通だ」とか、「心と体の性別が異なることはない、性別は男と女だけである」としている人からみて少数派という意味です。

最近では以下のアルファベットの頭文字をとって、「LGBT」や「LGBTQ」とも呼ばれています。

- L** レズビアン (女性同性愛者)
- G** ゲイ (男性同性愛者)
- B** バイセクシュアル (両性愛者)
- T** トランスジェンダー (体の性別と心の性別が異なる人やそのことに違和感を感じている人)
- Q** クエスチョニング (性のあり方に迷う人)

この他に、恋愛感情をもたない無性愛や、すべてのセクシュアリティの人が恋愛の対象となる全性愛、体の性の発達が典型的な男女とは異なっている性分化疾患などがあり、それらを総称して性的マイノリティと呼ぶこともあります。なお、最近ではSOGI (ソギ: Sexual Orientation and Gender Identity) と呼ばれることもあります。

## どのくらいいるの？



性的マイノリティは身近なところにいますが、そのことを言えないのです。

\*1 国内では一般的に人口の約3~5%とされています。2009年、厚生労働省エイズ対策研究事業「日本成人男性におけるMSM人口の推定とHIV/AIDSに関する意識調査」(名古屋市立大学 塩野徳史)によると同性に魅力を感じる割合は3.7%という調査結果もあります。

## 横須賀市の相談窓口

性的マイノリティで悩みを抱えている方の相談窓口を設置しています。

- 専門の相談機関ではありませんが、各相談窓口でお話を伺います(祝日・年末年始を除く)。
- 性同一性障害の診断をする機関ではありません。
- 『人権に関する相談』以外の来所相談の場合は、電話予約が必要となります(土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く)。

『人権に関する相談』…………… 相談連絡先: 人権・男女共同参画課  
☎046-822-8219

時間: 毎月第1・3木曜日13:00~15:30  
相談場所: 横須賀市小川町11番地市役所市民相談室

『子ども青少年相談』…………… 相談連絡先: 子ども青少年支援課  
☎046-823-3152

時間: 月曜日~金曜日9:30~17:00

『児童に関する相談』…………… 相談連絡先: 児童相談所  
☎046-820-2323

時間: 月曜日~金曜日8:30~17:00

『教育相談』…………… 相談連絡先: 支援教育課  
☎046-822-8564

時間: 月曜日~金曜日9:00~17:00

『こころの相談』…………… 相談連絡先: 保健所健康づくり課  
☎046-822-4336

時間: 月曜日~金曜日8:30~17:00

## 民間の相談窓口

性的マイノリティで悩みを抱えている人や、その家族が相談できる専門の電話相談です。

SHIP ほっとライン…………… 特定非営利活動法人SHIP  
☎045-548-3980

時間: 毎週木曜日19:00~21:00

発行日 平成27年(2015年)11月1日  
編集 横須賀市 市民部人権・男女共同参画課  
Tel:046-822-8219 Fax:046-822-4500  
特定非営利活動法人SHIP  
発行 横須賀市

このリーフレットは、1,500枚制作し、1枚あたりの制作費は72円です。

性の多様性を認め、自分らしく生きられるために

性的  
マイノリティ  
って知って  
いる?

好きには  
いろいろな  
カタチがあります



# 日常の何気ない言葉に傷ついている人がいます。

## 家庭で

「女の子だから、スカート履きなさい」  
「男らしくなさい」  
「女らしくなさい」

## 学校で

「ホモやレズってキモい!」  
「男らしくない、おまえオカマか!」

## 職場で

「彼女・彼氏はいないの?」  
「いつまでも独身でいるとホモやレズだと思われるぞ!」



「ホモ」や「オカマ」といった言葉は笑いのネタとして扱われることがあります。性的マイノリティは、社会の中で異質なものと見られていることや、笑いの対象となることに心理的ストレスを感じたり、自己否定的になることがあります。

「ホモ・レズ・オカマ・オナベ」は当事者が傷つく言葉です。ホモやレズは省略しなければ差別語になりません。

- ホモ → ホモセクシュアル (同性愛)
- レズ → レズビアン (女性同性愛者)

## 多様な性

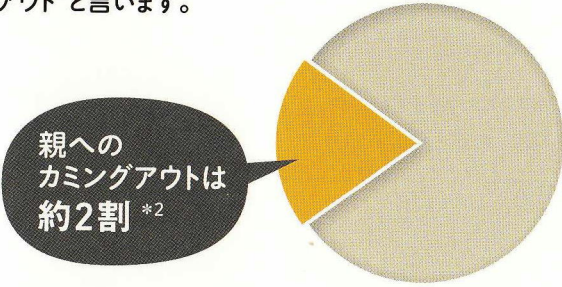
一般的に性は「男」と「女」の2つで分けて考えがちですが、これは生まれつきの「体の性」(戸籍上の性)で決められています。しかし、性には「体の性」の他に、自分自身が感じる「心の性」、恋愛の対象の「好きになる性」の3つの要素があります。

体の性	男	女
心の性	男	女
好きになる性	男	女

「体の性」と「心の性」は必ずしも同じとは限りません。また、「好きになる性」も異性だけとは限りません。そして、それぞれの性は男と女に明確に分けられるものではなく、その男女の間はグラデーションであり、境界はありません。100人いれば100通りの性のあり方があり、人それぞれさまざまなのです。

## カミングアウトの困難さ

自分が性的マイノリティであることを告白する行為を「カミングアウト」と言います。



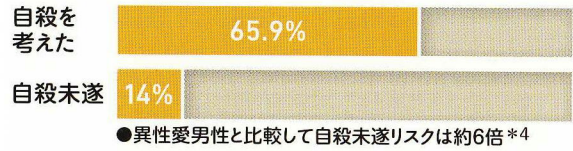
家族や信頼している人を傷つけたり拒否されたりするのではないかと心配して相談できずにいる人も多くいます。また、子どもからカミングアウトされた親も周囲に相談することができず悩むことがあります。

\*2 厚生労働省エイズ対策研究事業 (研究代表者 日高庸晴) REACH Online 2014

## 精神的な負担

性的マイノリティの多くは自らのセクシュアリティを周囲の人に話せずにいます。そのことは、ありのままの自分を隠し、周囲の人に合わせて生活をしていることとなります。その結果、自己肯定感が低くなったり、将来への見通しがもてず、心身の健康に影響を及ぼすことがあります。

### ゲイ・バイセクシュアル男性<sup>\*3</sup>



### 性同一性障害<sup>\*5</sup>



\*3 日高庸晴ほか (2007) 厚生労働省エイズ対策研究推進事業 ゲイ・バイセクシュアル男性の健康レポート2  
\*4 「わが国における都会の若者の自殺未遂経験割合とその関連要因に関する研究」 <http://www.health-issue.jp/suicide/>  
\*5 「岡山大学病院ジェンダークリニック」2009年調査

## 多様性を認め、自分らしく

男・女の2つで分けることや、恋愛の対象を異性と決めつけることで、性的マイノリティが生きにくい環境を作っています。また、男らしく、女らしくといった押し付けはその人の生き方を狭めてしまいます。

人にはそれぞれ、もって生まれた能力やその人らしさがあります。一番大切なことは、性別やセクシュアリティに関係なく、自分の個性や能力を発揮できる環境をつくることです。

レインボーカラーとは  
虹は7色ですが、6色のレインボーカラーは、性的マイノリティの活動のシンボルとして使われます。

